



今年度より本校は、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、より一層、地域との連携に取り組んでいきます。

本校では、初の学校運営協議会（古川浩樹校長を含め7名の委員と教職員5名）を5月8日（月）に実施しました。

古川校長から学校運営の基本方針の説明があったのち、各委員から学校運営についての御意見をいただきました。特に、熟議テーマとして本校のスクール・ミッションにある「グローバル社会を牽引する人財の育成」を中心に置き、本校が抱える課題（「弘高ねぷた」の持続的な体制づくり、「探究」指導体制の確立、部活動改革の方向性と在り方について）について協議をいたしました。

また、コミュニティ・スクール特命担当主任より、「弘高ねぷた」の様子とその問題点について紹介があり、「弘高ねぷた」に関しても委員の皆様から御意見をいただきました。説明の際のスライドの一部と、委員からの主な意見は以下のとおりです。



運行

18:30～20:00

- ①弘高 → 一番町
- ②一番町 → 中央通り
- ③中央通り → 土手町
- ④土手町 → 一番町
- ⑤一番町 → 弘高



今後の問題点

- 譲渡希望団体の減少
- 費用（物価高）
- 警備の人手不足
- 運行の安全性（バス）
- 関係業者の廃業、撤退
- 再利用（廃棄物処理）

～委員からの御意見、御質問～

Q. 様々な課題を抱えている「弘高ねぷた」の一番の課題は？

A. 生徒の安全確保のために交通規制のお願いや警備計画の再考の必要がある。

「弘高ねぷた」の運営は、生徒や教職員の力だけだと限界が近づいており、OBや保護者、地域の力が必要であると感じた。協力していきたい。

次回の学校運営協議会は、7月中旬に実施の予定で、生徒のねぷた制作の様子を見学したのちに、協議をしていきます。